

# 日本語教育学

## Study in Japanese Language Teaching

日本語教育研究科提供副専攻

### 設置概要

本学は1880年代より外国人留学生を受け入れ、現在、日本で最多の約5800名の留学生が学んでいます。そのうち約2400名以上の留学生が本学日本語教育研究センターで日本語科目を履修しています。

また、大学院日本語教育研究科は、第二言語として日本語を学ぶ学習者が日本語でコミュニケーションできるようになるための日本語教育のあり方と方法を理論的に研究し、「理論」と「実践」が統合された教育が展開できる日本語教師など日本語教育の専門家を養成しています。日本語教育研究科の修了生は、日本中、あるいは、世界各国の日本語教育機関等で幅広く活躍しています。

本副専攻では、分野としての日本語教育学を体系的に学びます。日本語教育学は「日本語」「教育／学習」「社会」の3本柱からなる分野です。日本語の教育や学習支援には、まず日本語に関する知識が不可欠です。しかし、それだけでは不十分で、日本語の教育や学習に関する知識や技術も必要です。さらに、日本語教育の専門家としては、第二言語として日本語を使って生きる人や彼らを受け入れる社会のあり方も視野に入れる必要があります。

<基礎>の科目群にある「日本語教育学入門」は、本副専攻の要となる科目で3本柱を広くカバーする科目で、その履修によって日本語教育学に関する全体図を得ることができます。「日本語」「教育／学習」「社会」の各柱には、それぞれ<基礎><発展1><発展2>の科目群があって、履修者は各自の専攻や興味・関心に応じて科目を選択しながら、日本語教育学を体系的に学ぶことができます。

### 到達点（学習成果）

本副専攻は、「日本語」「教育／学習」「社会」の3本柱からなり、それぞれが次のような到達目標をもっています。「日本語」は、個別言語の1つとして日本語を位置づけ、その体系、構造を理解し、日本語を客観的にとらえられるようになることを到達目標としています。「教育／学習」は、第二言語／母語として日本語を教えたり学んだりする際に必要な知識と技術を身につけることを到達目標としています。「社会」は、社会全体の中に日本語教育を位置づけ、その役割や意義が考えられるようになることを到達目標としています。

履修者は、各自の専攻や興味・関心に応じて本副専攻の科目を選択して学習することができます。その到達点は多様で、海外留学先の大学で日本語教育のティーチング・アシスタントをする、日本語教師となって国内外で教える、国内外で日本語学習支援のボランティアをするなど、さまざまケースがあります。

### カリキュラムマップ

区分	日本語	教育／学習	社会
到達目標	個別言語の1つとして日本語を位置づけ、その体系、構造を理解し、客観的にとらえられるようになる。	第二言語／母語として日本語を教えたり学んだりする際に必要な知識や技術を身につける。	社会全体の中に日本語教育を位置づけ、その役割や意義を考えられるようになる。
基礎 7科目 (14単位)	日本語教育学入門 この科目では、日本語教育学の基本的な概念を知ることにより、その大まかな全体像を学びます。		
	日本語を知る この科目は日本語という言語の音声や語彙、文法、談話がどのような仕組みになっているかを考えます。	日本語を教える この科目では、日本語を母語としない人どのように日本語を教えるかを学びます。	複言語社会を知る この科目は社会や個人において、どのようなことが使用されているかを日本語教育の視点から考えます。
	日本語使用を考える この科目は日本語がどのように使われているかを考える際にどのような捉え方があるかを学びます。	日本語学習を考える この科目では、人々が母語あるいは外国語／日本語として、日本語をどのように学んでいるかを知り、自身の言語学習についても内省する目を養います。	複言語社会を作る この科目は日本語教育がこれからの社会をつくるうえでどのようなことができるのかを考えます。
発展1 6科目 (12単位)	日本語を集める この科目は日本社会でどのような日本語が使われているかを知るために、いろいろな使用例を集めます。	日本語学習者を支援する この科目では、学習者がさまざまな場で日本語を学ぶことをどのように支援することができるかを学びます。	複言語社会を考える この科目は多様な背景をもつ人々が共に暮らす社会の中で、ことばと社会、そしてコミュニケーションに関する事象を日本語教育の視点から考えます。
	日本語を見る この科目は日本語を使ってどのようにコミュニケーションが行われるかを観察し、日本語によるコミュニケーションを見る目を養います。	日本語教師を養成する この科目では、外国語／第二言語としての日本語を教える教師をどのように養成するかを考えます。	複言語社会を生きる この科目は多様な背景をもつ人々が共に暮らす社会の中で、どのように暮らしているのかに関する事象を日本語教育の視点から考えます。
到達目標	「基礎」および「発展1」をふまえ、日本語教育学の広がりについて、さまざまな観点から学びます。		
発展2 9-12科目 (18-24単位)	「敬語コミュニケーション論1」、「敬語コミュニケーション論2」、「言語学入門」、「言語学1A」、「言語学1C」、「現代の日本語」、「「ことば」の世界」、「非言語行動論」、「心理学概論」、「国際教育論」、「比較・国際教育学」、「参加のデザイン技術A」		

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

16単位（基礎科目：8単位、発展科目1：4単位、発展科目2：4単位）以上

### ★基礎科目

修了必要単位：8単位

No	設置箇所	科目名	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	備考
1	GEC	日本語教育学入門 1 01	館岡 洋子 他	1年以上	春クォーター	フルオンデマンド		1	
2	GEC	日本語教育学入門 1 02	戸田 貴子 他	1年以上	秋クォーター	フルオンデマンド		1	
3	GEC	日本語教育学入門 2 01	館岡 洋子 他	1年以上	夏クォーター	フルオンデマンド		1	
4	GEC	日本語教育学入門 2 02	戸田 貴子 他	1年以上	冬クォーター	フルオンデマンド		1	
5	GEC	日本語を知る 1	小宮 千鶴子	1年以上	春クォーター	金3時限	早稲田	1	
6	GEC	日本語を知る 2	小宮 千鶴子	1年以上	夏クォーター	金3時限	早稲田	1	
7	GEC	日本語使用を考える 1	李 在鎬	1年以上	秋クォーター	フルオンデマンド	早稲田	1	
8	GEC	日本語使用を考える 2	李 在鎬	1年以上	冬クォーター	木1時限	早稲田	1	
9	GEC	日本語を教える 1	戸田 貴子	1年以上	春クォーター	木2時限	早稲田	1	
10	GEC	日本語を教える 2	戸田 貴子	1年以上	夏クォーター	木2時限	早稲田	1	
11	GEC	日本語学習を考える 1	館岡 洋子	1年以上	秋クォーター	水2時限	早稲田	1	
12	GEC	日本語学習を考える 2	館岡 洋子	1年以上	冬クォーター	水2時限	早稲田	1	
13	GEC	複言語社会を知る 1	川上 郁雄	1年以上	春クォーター	水4時限	早稲田	1	
14	GEC	複言語社会を知る 2	川上 郁雄	1年以上	夏クォーター	水4時限	早稲田	1	
15	GEC	複言語社会を作る 1	宮崎 里司	1年以上	秋クォーター	水4時限	早稲田	1	
16	GEC	複言語社会を作る 2	宮崎 里司	1年以上	冬クォーター	水4時限	早稲田	1	

### ★発展科目1

修了必要単位：4単位

No	設置箇所	科目名	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	備考
1	GEC	日本語を集める 1	久保田 美子	1年以上	秋クォーター	木2時限	早稲田	1	
2	GEC	日本語を集める 2	久保田 美子	1年以上	冬クォーター	木2時限	早稲田	1	
3	GEC	日本語を見る 1	久保田 美子	1年以上	春クォーター	金2時限	早稲田	1	
4	GEC	日本語を見る 2	久保田 美子	1年以上	夏クォーター	金2時限	早稲田	1	
5	GEC	日本語学習者を支援する 1	木下 直子	1年以上	春クォーター	火5時限	早稲田	1	
6	GEC	日本語学習者を支援する 2	木下 直子	1年以上	夏クォーター	火5時限	早稲田	1	
7	GEC	日本語教師を養成する 1	濱川 祐紀代	1年以上	秋クォーター	木2時限	早稲田	1	
8	GEC	日本語教師を養成する 2	濱川 祐紀代	1年以上	冬クォーター	木2時限	早稲田	1	
9	GEC	複言語社会を考える 1	眞丸 真澄	1年以上	春クォーター	月2時限	早稲田	1	
10	GEC	複言語社会を考える 2	眞丸 真澄	1年以上	夏クォーター	月2時限	早稲田	1	
11	GEC	複言語社会を生きる 1	眞丸 真澄	1年以上	秋クォーター	月2時限	早稲田	1	
12	GEC	複言語社会を生きる 2	眞丸 真澄	1年以上	冬クォーター	月2時限	早稲田	1	

### ★発展科目2

修了必要単位：4単位

No	設置箇所	科目名	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	備考
1	法学	言語学 I C (ストックウェル)	ストックウェル グレン	1年以上	春学期	水2時限	早稲田	2	
2	法学	言語学 I A (首藤)	首藤 佐智子	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2	
3	社会学	参加のデザイン技術 A	卯月 盛夫	1年以上	春学期	金5時限 金6時限	早稲田	4	
4	人科	心理学概論 01	関根 和生 他	1年以上	春学期	月1時限	所沢	2	
5	人科	心理学概論 02	野村 亮太 他	1年以上	秋学期	月1時限	所沢	2	
6	人科	非言語行動論	関根 和生	1年以上	秋学期	火3時限	所沢	2	
7	文構	言語学入門	森田 彰	1年以上	春学期	土2時限	早稲田	2	
8	文構	グローバル社会と教育	山西 優二	2年以上	秋学期	木2時限	戸山	2	
9	文	比較・国際教育学 (教育改革の視点とその方策)	山西 優二	2年以上	春学期	木2時限	戸山	2	
10	文	現代の日本語	笹原 宏之	1年以上	秋学期	水4時限	戸山	2	
11	基幹	「ことば」の世界	片田 房	1年以上	春学期	木3時限	西早稲田	2	
12	GEC	敬語コミュニケーション論 1 01							2021年度休講
13	GEC	敬語コミュニケーション論 1 02	蒲谷 宏	1年以上	秋クォーター	金3時限	早稲田	1	
14	GEC	敬語コミュニケーション論 2 01							2021年度休講
15	GEC	敬語コミュニケーション論 2 02	蒲谷 宏	1年以上	冬クォーター	金3時限	早稲田	1	

## 履修を希望する学生へのメッセージ

本副専攻では、分野としての日本語教育学を体系的に学びます。日本語教育学は「日本語」「教育／学習」「社会」の3本柱からなる分野です。日本語の教育や学習支援には、まず日本語に関する知識が不可欠です。しかし、それだけでは不十分で、日本語の教育や学習に関する知識や技術も必要です。さらに、日本語教育の専門家としては、第二言語として日本語を使って生きる人や彼らを受け入れる社会のあり方も視野に入れ

る必要があります。

＜基礎＞には7科目あり、「日本語教育学入門」はその1つですが、他の6科目とは異なり、本副専攻の3本柱の要となる科目なので、その履修を強く推奨します。本副専攻では、「日本語教育学入門」のみ春夏クォーター、秋冬クォーターのどちらも開講されます。それ以外の科目のほとんどが、春夏クォーター、または、秋冬クォーターのいずれかのみでの開講ですので、履修の時期にご注意ください。

本副専攻に設置されている科目の幅広い履修は、本副専攻の申請を特に考えていない方にも推奨します。地域や職場で日本語を母語としない人と接することが珍しくない現在、日本語教育学を学び、日本語や日本社会、日本文化を相対化して客観的に捉えられるようになることは、21世紀を生きるための教養だからです。

# MEMO